



住友ゴム工業株式会社
第135期
第1四半期決算説明会

2026年12月期
2026年1月1日～3月31日

2026年5月15日

TAKING YOU BEYOND

■ 2026年第1四半期決算概要

- 連結範囲の異動、関係会社の状況
- 第1四半期ハイライト、決算概要

■ 2026年度予想

- 決算予想概要
- 設備投資・減価償却・タイヤ生産能力、他
- 株主還元、他

■ 2026年第1四半期決算概要

- 連結範囲の異動、関係会社の状況
- 第1四半期ハイライト、決算概要




■ 2026年度予想

- 決算予想概要
- 設備投資・減価償却・タイヤ生産能力、他
- 株主還元、他




連結範囲の異動

連結子会社 **85社 (+1社)**

持分法適用会社 **3社 (-社)**

	新規 1社	除外 -社	新規 -社	除外 -社
タイヤ 	VIADUCTSI, informacijske tehnologije, d.o.o. (スロベニア/その他)			
スポーツ 				
産業品他 				

関係会社の状況

	製造会社		販売会社		その他の会社	
タイヤ 	国内	1社	国内	1社	国内	7社
	海外	8社	海外	29社	海外	10社
		アジア・大洋州 4社		アジア・大洋州 7社		アジア・大洋州 2社
		欧州・アフリカ 2社		欧州・アフリカ 19社		欧州・アフリカ 5社
		米州 2社		米州 3社		米州 3社
スポーツ 	国内	1社	国内	1社	国内	2社
	海外	3社	海外	12社	海外	6社
		タイ、米国、フィリピン		マレーシア、英国、カナダ、オーストラリア、中国、香港、南アフリカ、韓国、タイ、フランス、ドイツ		英国
産業品他 	国内	－社	国内	3社	国内	－社
	海外	3社	海外	1社	海外	－社
		マレーシア、中国、ベトナム		香港		－

全88社
 国内 16社
 海外 72社

決算ハイライト

2026年度第1四半期業績

- 売上収益（全社：3,022億円、タイヤ事業：2,599億円）は前年同期比増収、過去最高を更新
- 事業利益（全社：168億円、タイヤ事業：148億円）は前年同期比増益
- 欧州におけるDUNLOPブランドタイヤは1月に計画通り販売開始、3月に販売拡大を本格化

主な取り組み

欧・米・豪におけるDUNLOPブランドの販売網拡大

欧州DUNLOPブランドタイヤは2026年1月に始動、3月には自社製品BLUE RESPONSE TGの販売を開始し、競争力強化
BLUE RESPONSE TGが欧州で権威ある自動車専門誌 AMS（Auto Motor und Sport）のタイヤテストで総合1位を獲得

アクティブトレッド技術搭載 次世代オールシーズンタイヤ SYNCHRO WEATHER の拡販

SYNCHRO WEATHER の販売本数が前年を大きく上回り、数量・構成改善に寄与

Project ARKによる利益創出・総コスト低減が順調に進展

2026年度第1四半期実績：20億円

中東情勢影響を最小限に抑制

原材料や輸送ルートの確保、コスト抑制の取り組みの結果、第1四半期の業績への影響は限定的

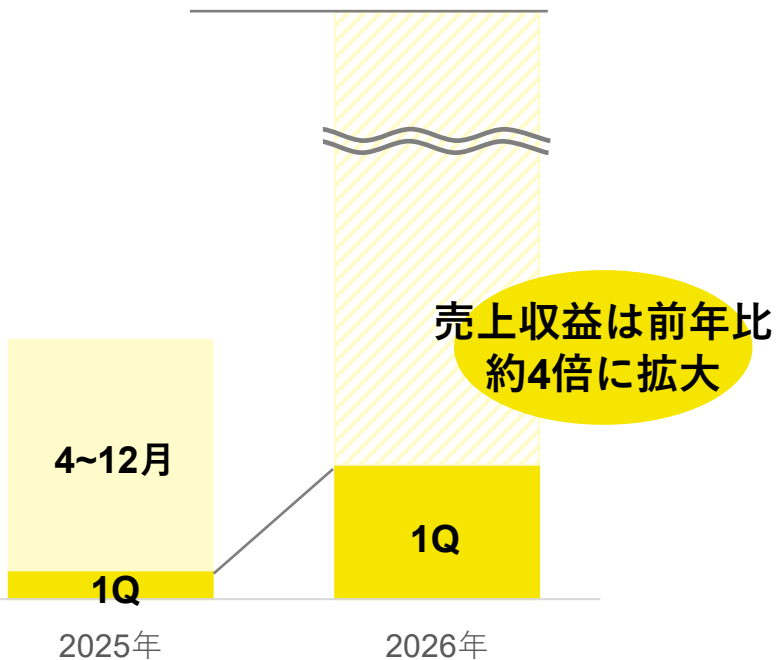
【国内】SYNCHRO WEATHER 販売総括（2026/1Q）

高インチ帯を中心に販売は年初計画を上回り、オールシーズンカテゴリーの市場拡大をSYNCHRO WEATHERが牽引。低インチ帯では一部計画未達はあるものの、商品構成の改善により、利益は計画を超過達成。



国内 SYNCHRO WEATHER 販売本数

販売計画 100万本

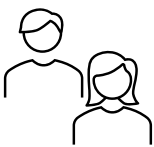


Product

3月までにフルラインナップ(112サイズ)の上市を完了

○お客様の声

✓夏冬を問わず高い走行性能を実証、
耐摩耗性にも優れ、長期使用価値を高く評価



圧雪・氷上・吹雪などあらゆる環境下で問題なし

静粛性にも優れ、上質な乗り心地

4万km走破しても、新品と違いを感じさせない

○販売店の声

✓需要の平準化により繁忙期が分散、
人員配置の最適化につながる商品として評価



繁忙期が分散されるので、店にとっても嬉しい

Promotion

✓大谷翔平選手起用CM等により、オールシーズン需要を喚起
✓新車向けオプション販売を継続強化



【欧州】 DUNLOP 販売総括（2026/1Q）

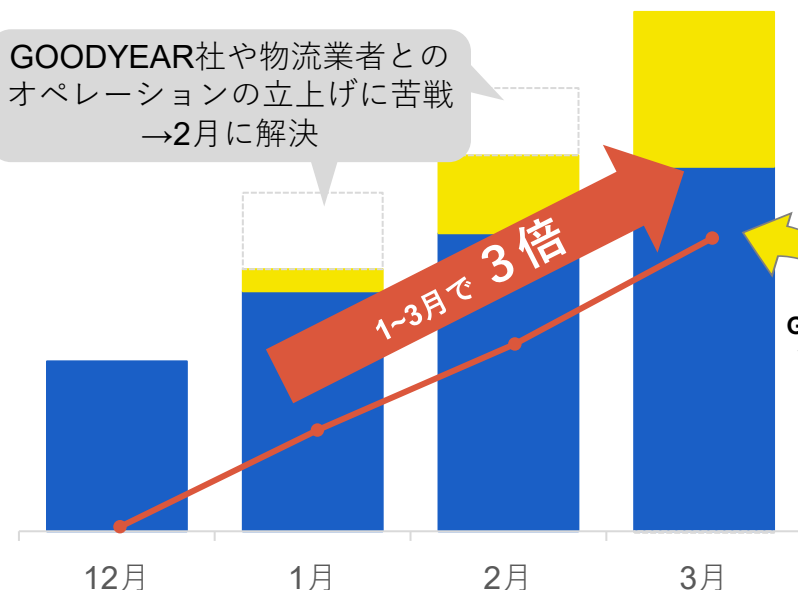
価格戦略、主要国でのアカウント拡大、積極的な販売施策の相乗効果により、**市場ポジションを着実に向上**。
 新商品の投入とアカウント拡大を両輪に、プレミアム化を一段と加速させる。



欧州 販売本数 （乗用車用タイヤ ※市販用）

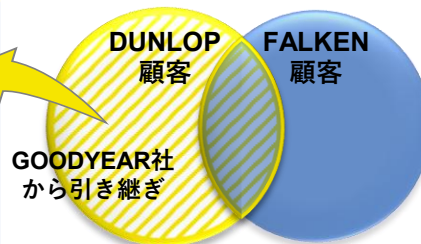
- : DUNLOP
- : FALKEN
- : 月別計画本数
- : DUNLOP取引件数

計画線上まで回復



GOODYEAR社や物流業者とのオペレーションの立上げに苦戦
 →2月に解決

1~3月で 3倍



Product

当社製 第一弾新商品”BLUE RESPONSE TG”上市

- ✓ 2026年3月：99サイズの販売を開始
- ✓ 自動車専門誌「Auto Motor und Sport」*1で最高評価を獲得

Price

市場価格ポジションの戦略的な改善

- ✓ BLUE RESPONSE TG は計画通りの価格戦略を実現

Place

欧州主要国での顧客拡大

- ✓ 計画通り、想定顧客の40%超を1Qで開拓
 →引き続き、残る約60%の開拓ポテンシャルを着実に取り込む
- ✓ プレミアム自動車メーカー向けに4車種10サイズでタイヤ開発を開始

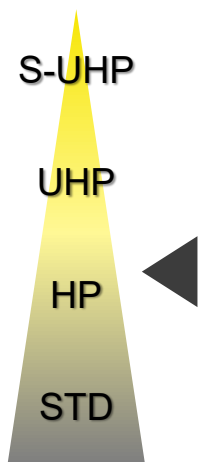
*1：欧州で最も影響力のある自動車専門誌の一つ
 厳格な比較試験に基づく定量評価媒体として、欧州自動車メーカー・消費者から高い信頼を得ている

【欧州】 BLUE RESPONSE TG 高評価を獲得

安全性・操縦性・快適性・耐久性を高次元で両立し、質の高いドライビング体験を提供するタイヤとして開発。タイヤ欧州有力誌「Auto Motor und Sport」にて総合1位かつ”卓越した性能”の称号「Outstanding*1」を獲得。上市発表試乗会とあわせて、**DUNLOP復権に向けた、プレミアムブランドとしての技術力**を認知頂いた。

*1 Outstanding：毎回付与されるものではなく、明確に完成度が卓越している場合に与えられる評価

DUNLOP



BLUE RESPONSE TG

大手雑誌「Auto Motor und Sport」評価ダントツ1位獲得（ドイツ）

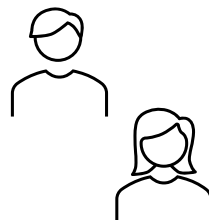


- ・欧州で自動車メーカーも含めて最も信頼されるタイヤ比較評価媒体の一つ
- ・ウェット、ドライ共にほぼ最高評価(10点満点中9.6点)
(評価サイズ：195/55R16 91V XL)

上市発表試乗会でも高評価 @Circuito de Seville（スペイン）



<お客様の声>



・ハンドリングがすごく安定していて、ウェット路面でもドライと全く差がなくて驚いた

・UHPと言われても違和感ない性能

・これまで多くのメーカーの製品を試乗してきたが、その中でもかなり優秀だと思う

・街乗りでも非常に静かで快適だった



最新世代の**ポリマー配合技術**を応用した最新**トレッド配合**を採用。優れた路面接地性と摩耗の最小化を実現。

DUNLOP

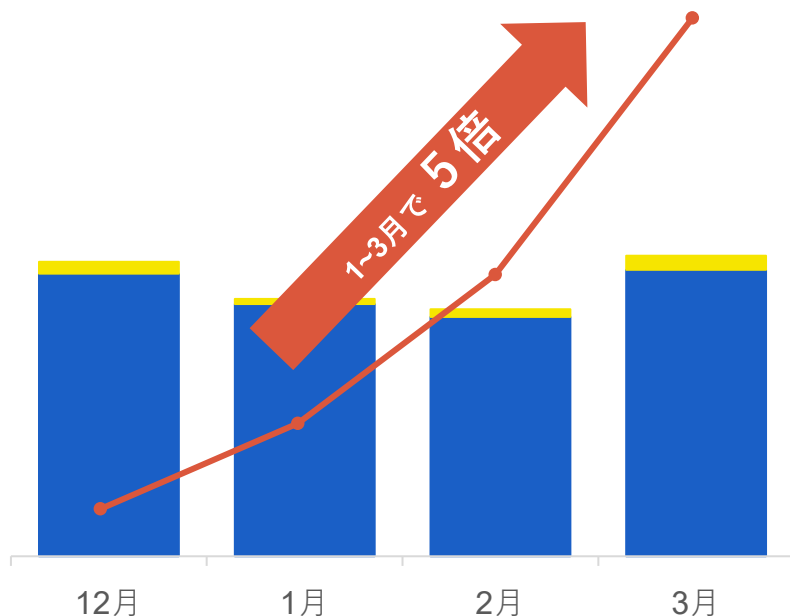
【北米】 DUNLOP/FALKEN 販売総括（2026/1Q）

年初の暴風・豪雪の影響で市場全体の需要が減退する中、**FALKENは健闘**。
DUNLOPは、2月より小売店での取り扱い促進に注力し、3月以降は概ね計画通りに推移。



北米 販売本数 (乗用車用タイヤ※市販用)

- : DUNLOP
- : FALKEN
- : DUNLOP取引件数



Promotion

- 卸大手との協業プロモーション
- ✓ 市場全体の需要が減退する中、下落幅は限定的にとどまる



Product

- 当社製 第一弾新商品“BLUE RESPONSE A/S”上市
- ✓ 2025年12月：PC向け44サイズ 上市
- ✓ 2026年 6月：CUV向け36サイズ 追加投入



Price

- 市場価格ポジション改善
- ✓ 小売価格は他社プレミアム商品をターゲットまで改善

Place

- 販路設計
- ✓ FANATICを中心に、プレミアム商品の価格帯の維持、販売品質を担保できる店舗網を構築
- ✓ 3月末時点で1千店超のディーラーがBLUE RESPONSE A/Sを購入
- 引き続き、潜在ディーラーへのアプローチを高め、DUNLOP取扱い店舗数の拡大に注力

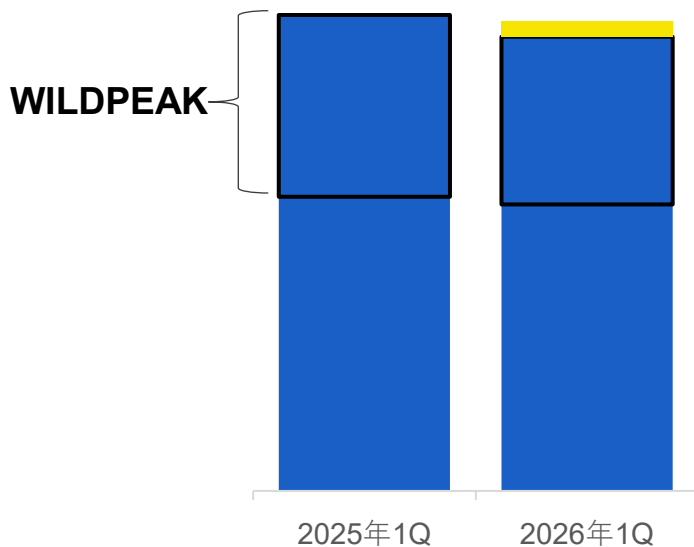
【北米】 DUNLOP/FALKEN 販売総括（2026/1Q）

市況悪化及びインフレ・ガソリン高騰による低価格帯へのトレードダウン傾向が続く中、卸大手との協業による販売促進や販売チャネルの拡大に向けた施策推進によって販売の落ち幅を最小限にとどめている。



北米 販売本数 (乗用車用タイヤ※市販用)

■ : DUNLOP
■ : FALKEN



需要の下落（前年比）

	1Q	特殊要因除く
業界	92%	—
FALKEN	95%	101%
WILDPEAK	92%	107%

大手顧客の営業再開に伴う在庫積上げ等の特殊要因を除けば、**前年比で販売増**



Promotion

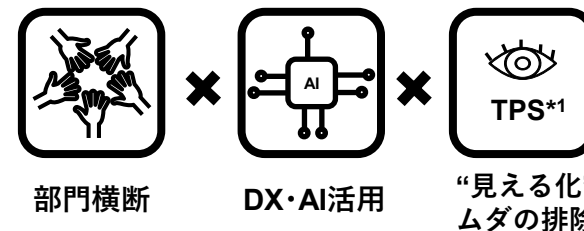
ダンロップブランド上市イベントを実施



Project ARKの進捗

累計300億円の効果創出(2027年末迄)に対し、**262億円の目途付け完了。**

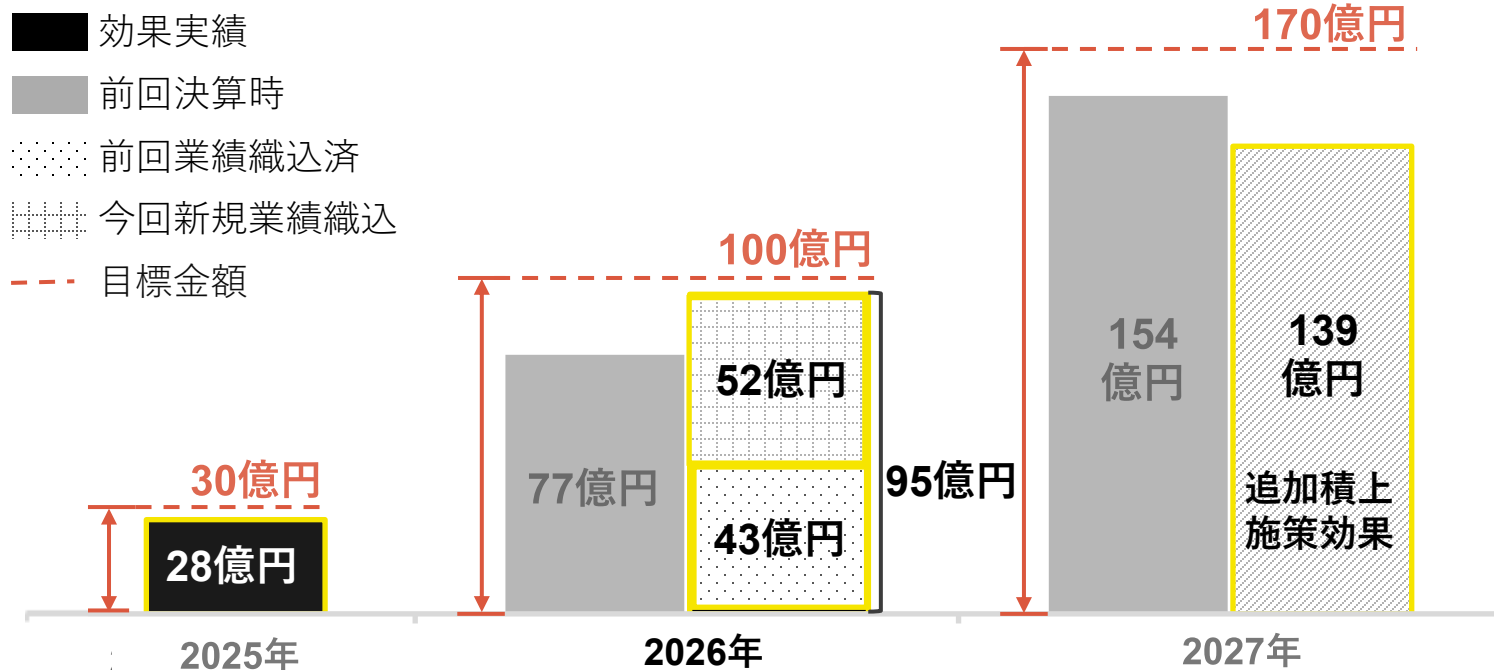
Project ARKの3要素



施策効果額

(億円)	2025年	2026年		
		1Q実績	2Q以降(業績織込済)	
			2Q	下期
タイヤ直接原価	+21	+12	+13	+33
タイヤ固定費	+0	+0	+0	+1
タイヤ経費	+3	+5	+4	+14
スポーツ	+3	+1	+2	+4
産業品他	+2	+1	+1	+4
合計	+28	+20	+20	+55

+95



3年累計 259億円 → **262億円** / 300億円

主な施策・アイデア

子会社、拠点（事務所、倉庫）の事業部を跨ぐ統廃合

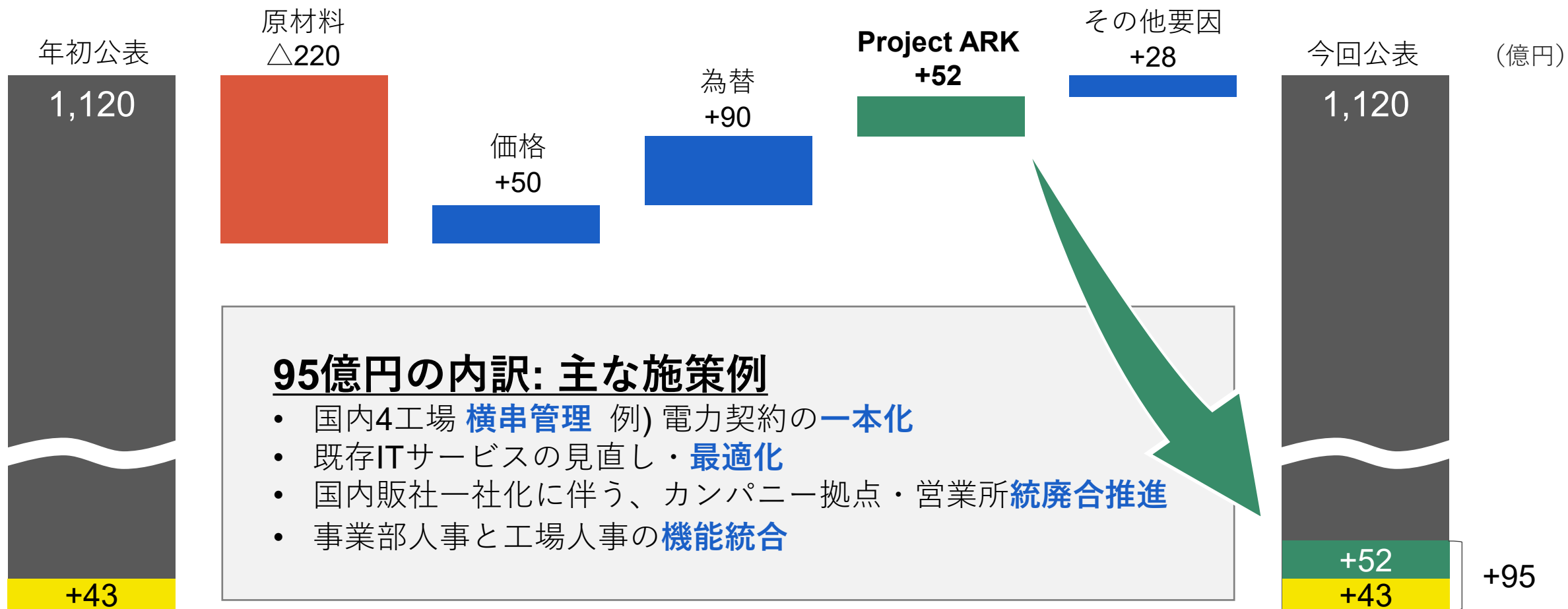
米国向けの主力工場である、タイ工場のコストダウン

タイヤ要求予測にAI活用&バーチャル試作で開発リードタイム短縮
 タイヤ軽量化による原材料費削減（市販用新商品で適用中）

*1 TPS：トヨタ生産方式

今回発表時点でのProject ARK施策効果額織り込み状況

前回時点で“追加積上施策効果”としていた効果額も含め95億円を2026年業績予想に織り込み済み。



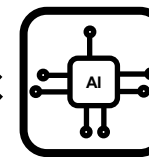
タイ工場のコスト削減について

95億円からの更なる上積みを目指し、収益基盤強化の改革を進行中。
最大生産拠点のタイ工場で現地と本社が一体となり原価低減を加速。

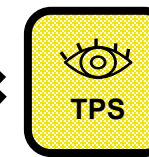
Project ARKの3要素



部門横断



DX・AI活用



“見える化”
ムダの排除

2026年2月公表 決算資料一部引用

革新設備の垂直立上げ

【第一工場リニューアル】 SUN-TITAN SYSTEM



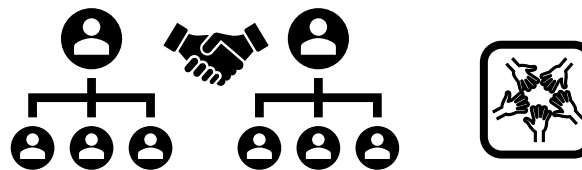
【第三工場リニューアル】

高性能生産設備への置換で欧米向け
プレミアム商品の供給力と品質向上

現地×本社の連携

現地メンバーと本社の調達・設計・
物流・営業・品質横断チーム結成

タイ工場×本社



TPS視点のムリ・ムラ・ムダ排除

- 原材料の違いを“性能差ゼロ”にする技術開発を推進し、コスト競争力を強化する。
- 生産能力のボトルネック工程の改善により製造原価を低減



進捗

【第一工場リニューアル】

国内からもエンジニアを派遣しSUN-TITAN SYSTEMの立上げにリソースを投入
→当初計画からの前倒しで量産開始予定

【第三工場リニューアル】

2027年の稼働に向けて計画通りの進捗

2月・4月に本社関係部門が現地入りし、現地と連携
直接原価低減の積み上げに加えTPS視点で固定費構造の合理化と歩留改善を支援

原価低減効果(2026年分)：20億円*1(2月公表時) → 26億円*1

*1：原材料価格影響含

2026年1-3月 連結業績

(億円)

	2026年 1-3月	2025年 1-3月	前年 同期比	前期実績 2025年
売上収益	3,022	2,878	105%	12,071
事業利益 率 ※1,3	168 5.6%	141 4.9%	119%	908 7.5%
営業利益 率 ※3	151 5.0%	123 4.3%	122%	826 6.8%
四半期利益 ※2,3	86	36	241%	504

※1. 事業利益：売上収益－(売上原価+販売費及び一般管理費)

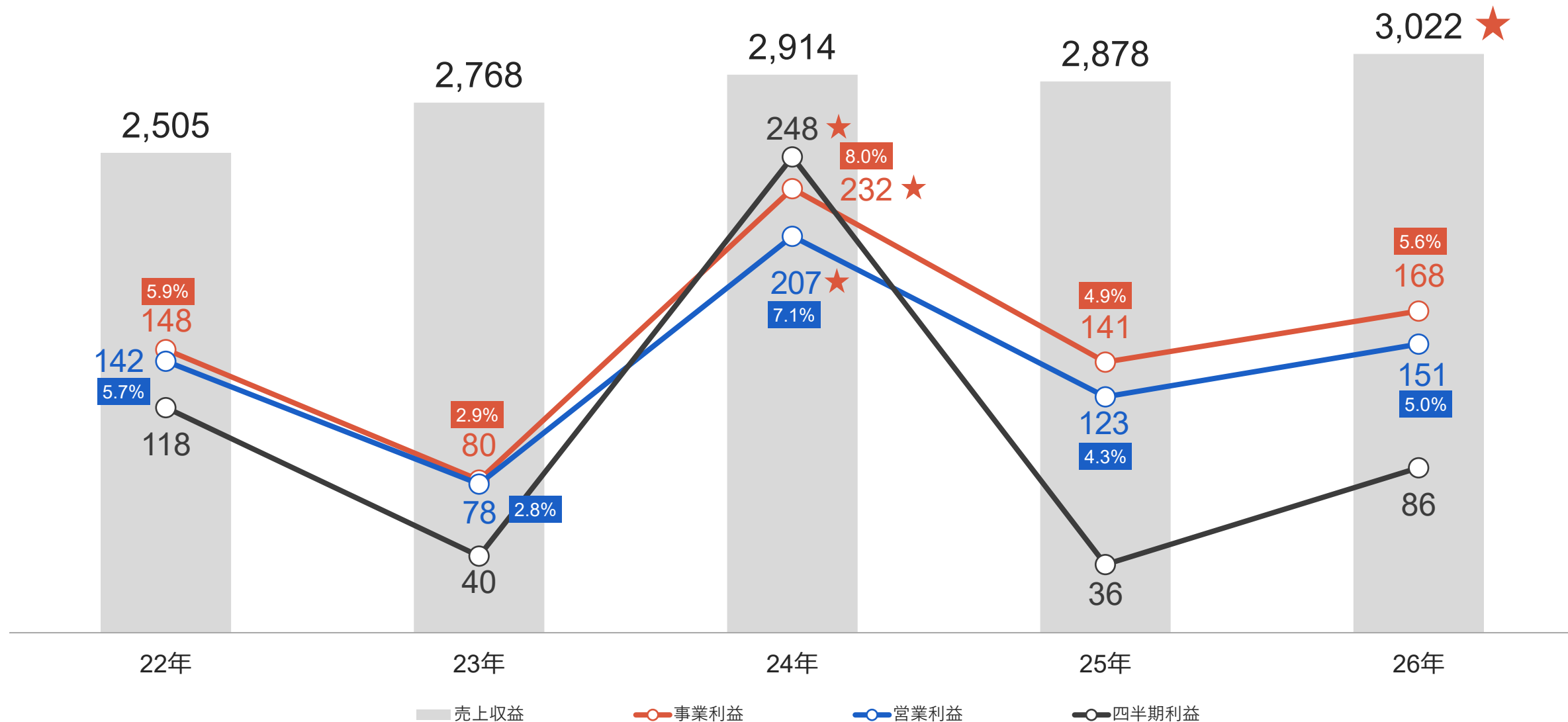
※2. 四半期利益：親会社の所有者に帰属する四半期・当期利益

※3. 2022年第2四半期より、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に従い、会計上の調整を加えております。

当資料では全頁にわたり上記を適用しております。

1-3月 連結売上収益・利益の推移

単位：億円 %：利益率 ★：過去最高



2026年1-3月 セグメント別 連結売上収益・事業利益

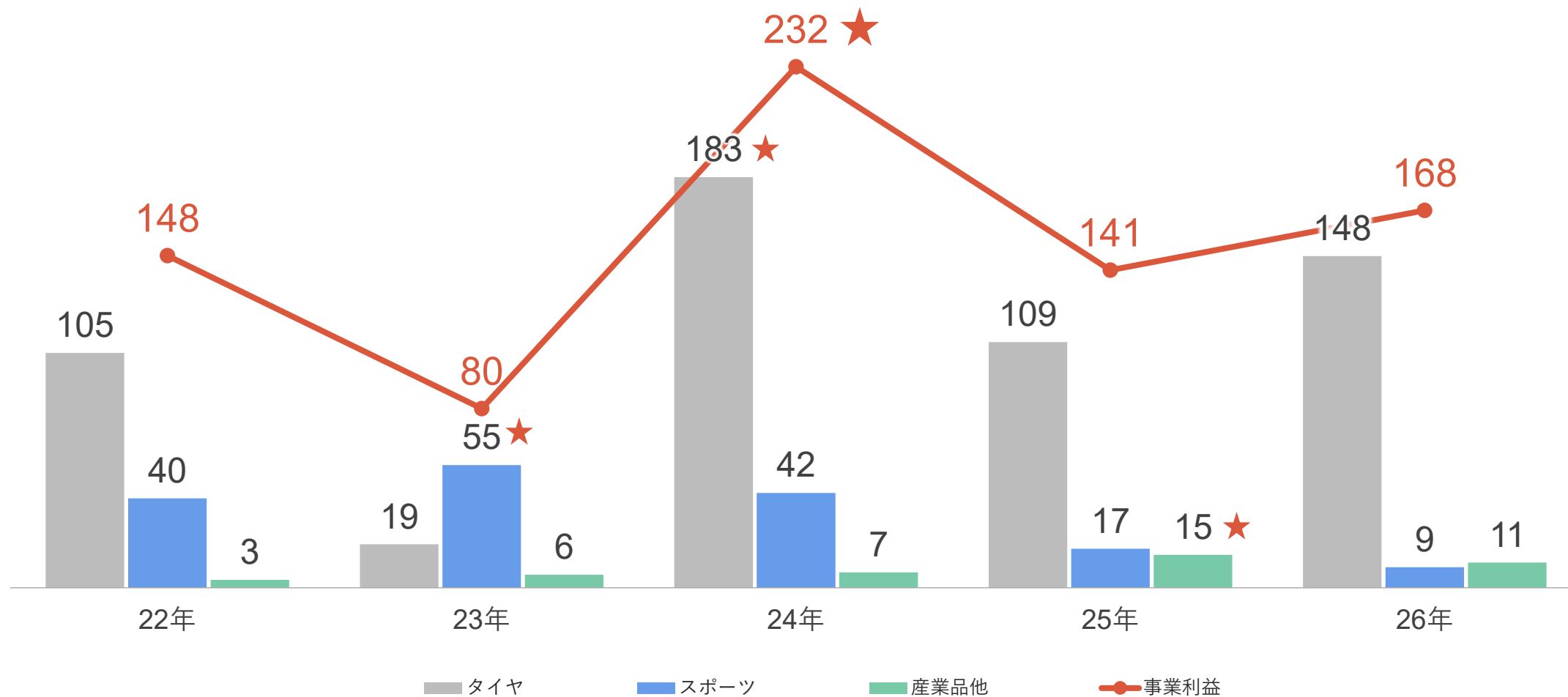
(億円)

		2026年 1-3月	2025年 1-3月	前年 同期比	前期実績 2025年
売上 収益	タイヤ	2,599	2,446	106%	10,437
	スポーツ	322	324	99%	1,256
	産業品他	101	108	93%	378
	合計	3,022	2,878	105%	12,071
事業 利益	タイヤ	148	109	135%	798
	スポーツ	9	17	53%	68
	産業品他 ※	11	15	76%	41
	合計	168	141	119%	908

※セグメント間取引消去等が含まれております。

1-3月 事業セグメント別 連結事業利益の推移

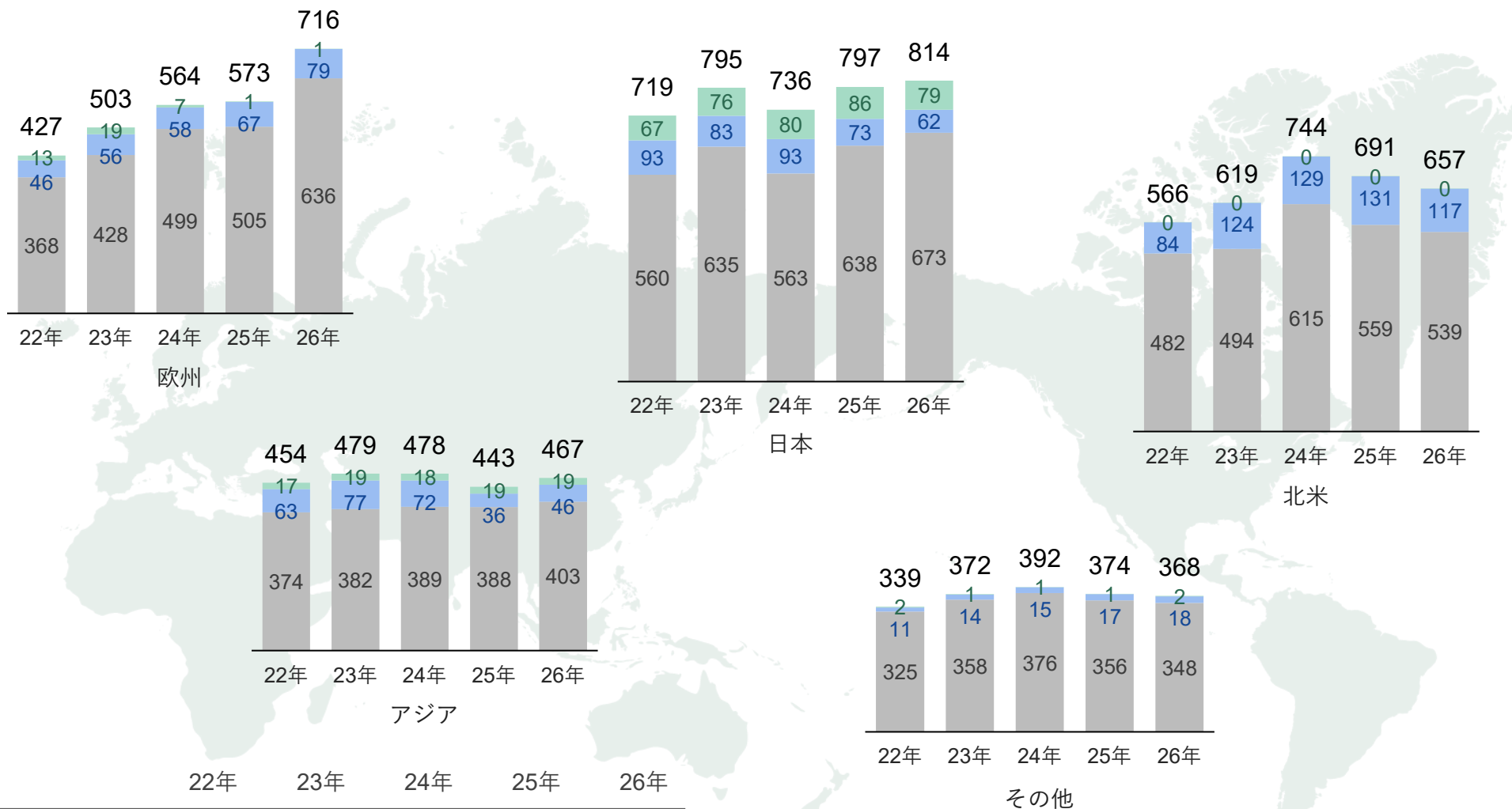
★：過去最高
(億円)



1-3月 仕向地別 年間連結売上収益の推移

(億円)

- 産業品他
- スポーツ
- タイヤ

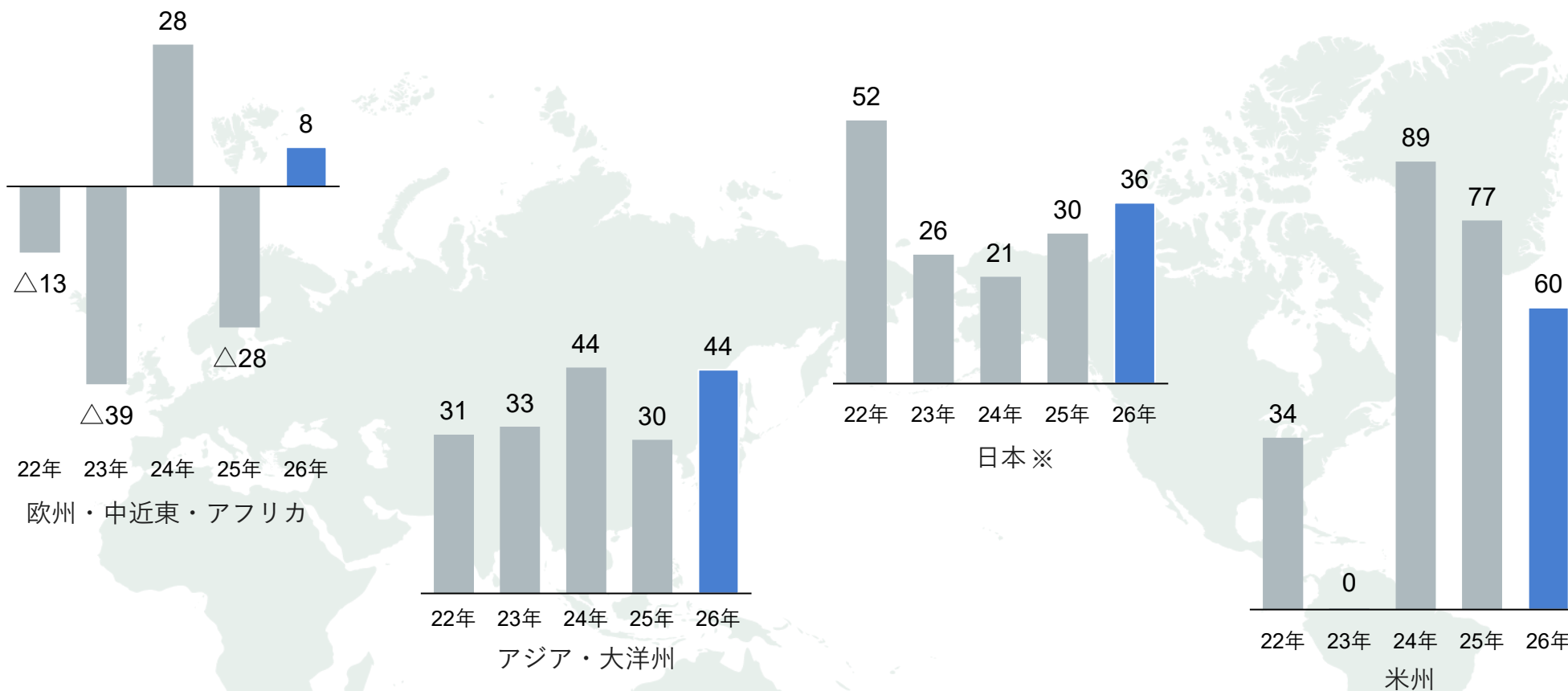


	22年	23年	24年	25年	26年
連結売上	2,505	2,768	2,914	2,878	3,022
海外比率	71%	71%	75%	72%	73%

※当ページでの売上は顧客の所在地に基づき、国または地域に区分しております。

1-3月地域別事業利益の推移（タイヤ事業）

(億円)

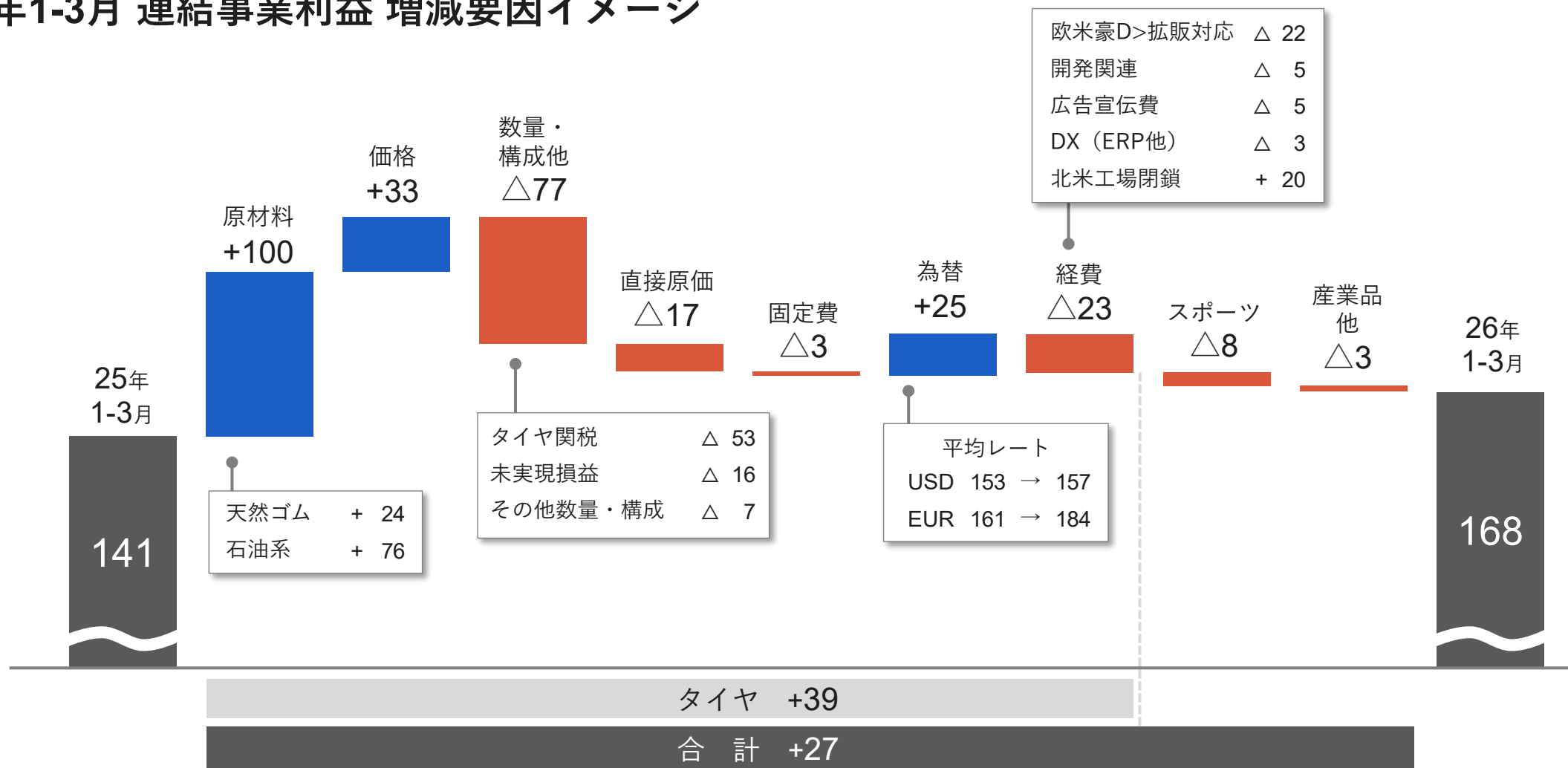


	22年	23年	24年	25年	26年
タイヤ事業利益	105	19	183	109	148
うち海外	52	△6	162	79	112
海外比率	50%	-	88%	73%	76%

※日本からグループ販売会社を通さずに直接輸出販売したものは日本に集計しております。

2026年1-3月 連結事業利益 増減要因イメージ

(億円)



	1-3月	原材料	価格	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	1-3月	(増減)
24年→25年	232	$\Delta 88$	+28	+15	$\Delta 6$	+20	$\Delta 15$	$\Delta 28$	$\Delta 25$	+8	141	$\Delta 91$
23年→24年	80	+38	$\Delta 1$	+111	$\Delta 22$	$\Delta 14$	+53	$\Delta 2$	$\Delta 12$	+1	232	+152

連結損益計算書の状況

(億円)	2025年 1-3月	2026年 1-3月	増減
売上収益	2,878	3,022	+144
売上原価	△2,041	△2,085	△44
販売費及び一般管理費	△695	△768	△73
事業利益	141	168	+27
その他の収益	10	9	△1
その他の費用	△28	△26	+2
営業利益	123	151	+27
金融収益	26	47	+21
金融費用	△109	△51	+58
持分法による投資利益	0	0	+0
税引前利益	40	147	+107
法人所得税費用	△8	△51	△43
非支配持分	4	△10	△14
四半期利益	36	86	+50

実績の概要

1 事業利益		
詳細はP.6, 15~21参照		
2 その他の収益	実績内訳	対前年増減
その他営業外収益	8億円	+0億円
3 その他の費用		
その他営業外費用	△13億円	△1億円
固定資産除売却損	△6億円	△1億円
4 金融収益		
正味貨幣持高に係る利得	25億円	+9億円
デリバティブ評価益	13億円	+13億円
受取利息	8億円	△1億円
5 金融費用		
為替差損	△29億円	+51億円
支払利息	△22億円	△5億円

連結バランスシート of 状況

(億円)	前期実績 2025/12末	当期実績 2026/03末	増減
流動資産	6,793	7,009	① +216
非流動資産	7,806	7,897	② +91
資産合計	14,599	14,906	+307
流動負債	3,799	4,031	+231
非流動負債	3,437	3,404	△33
負債合計	7,236	7,435	③ +198
自己資本	7,161	7,257	④ +96
非支配持分	202	214	+12
資本合計	7,363	7,471	+108
負債及び資本合計	14,599	14,906	+307
自己資本比率	49.0%	48.7%	△0.3P

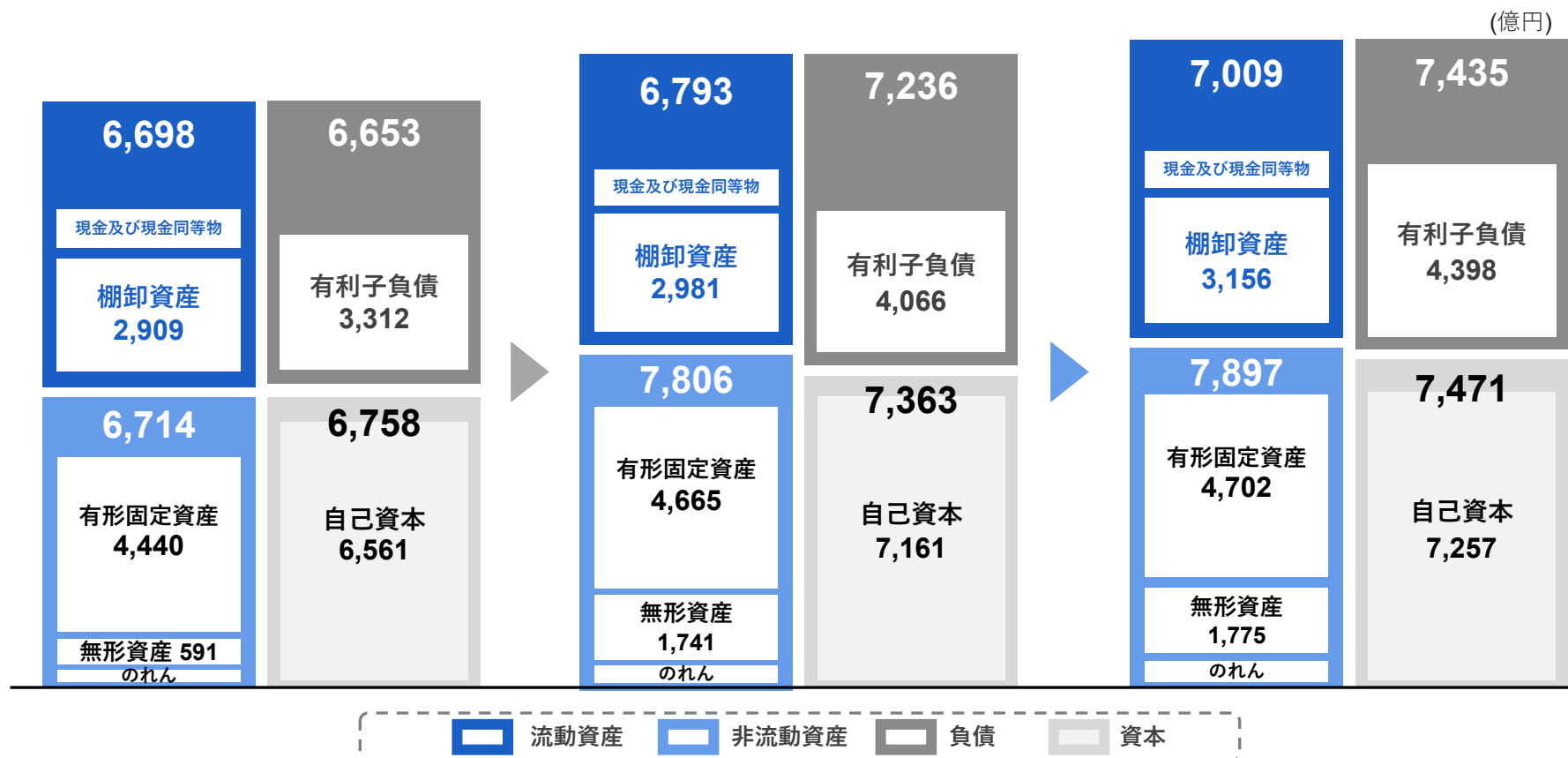
主な増減要因

① 流動資産	対前期末増減
棚卸資産	+174億円
営業債権及びその他の債権	+67億円
その他の流動資産	△45億円
② 非流動資産	
無形資産 (のれん含)	+37億円
有形固定資産	+37億円
③ 負債合計	
社債及び借入金	+386億円
その他の流動負債	+46億円
未払法人所得税	△98億円
営業債務及びその他の債務	△104億円
④ 自己資本	
為替換算調整額	+119億円
四半期利益	+86億円
配当支払	△110億円
有利子負債	+332億円 (4,066 → 4,398)

連結バランスシートの推移

▶ 資本構成を見直しながら、資本効率改善に取り組む

2024/12末 **2025/12末** **2026/03末**
総資産： 1兆3,411億円 1兆4,599億円 1兆4,906億円
ROE： 1.5% 7.3% 7.5% (通期見通し)



■ 2026年第1四半期決算概要

- 連結範囲の異動、関係会社の状況
- 第1四半期ハイライト、決算概要

■ 2026年度予想

- 決算予想概要
- 設備投資・減価償却・タイヤ生産能力、他
- 株主還元、他

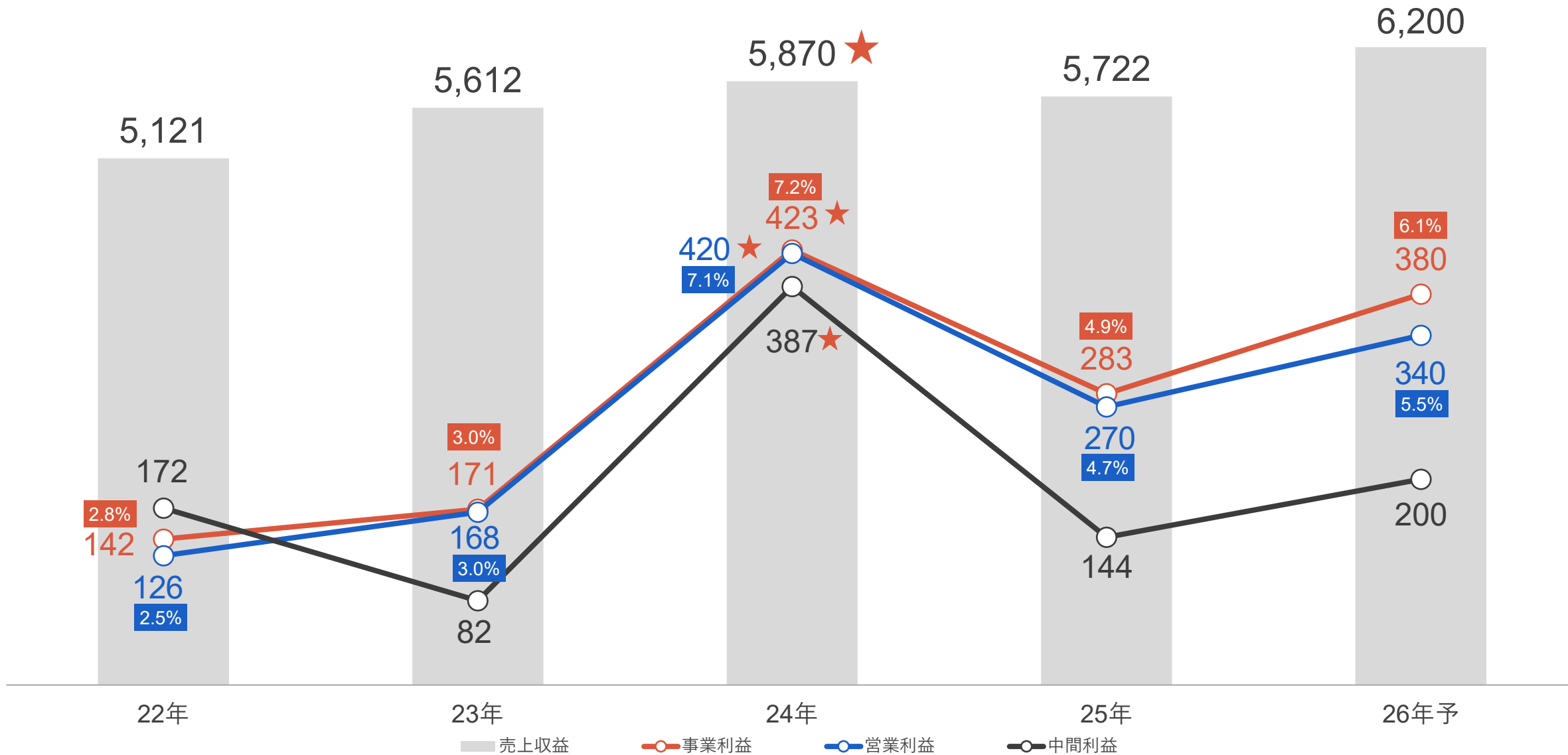
2026年1-6月 連結業績予想

(億円)

	今回予想 2026年 1-6月	前年同期 2025年 1-6月	前年 同期比	年初予想 2026年 1-6月	今回予想 2026年 4-6月	前年同期 2025年 4-6月
売上収益	6,200	5,722	108%	6,200	3,178	2,844
事業利益 率	380 6.1%	283 4.9%	134%	380 6.1%	212 6.7%	142 5.0%
営業利益 率	340 5.5%	270 4.7%	126%	340 5.5%	189 6.0%	147 5.2%
中間利益	200	144	139%	200	114	108

1-6月 連結売上収益・利益の推移

単位：億円 %：利益率 ★：過去最高



2026年1-6月 セグメント別 連結売上収益・事業利益予想

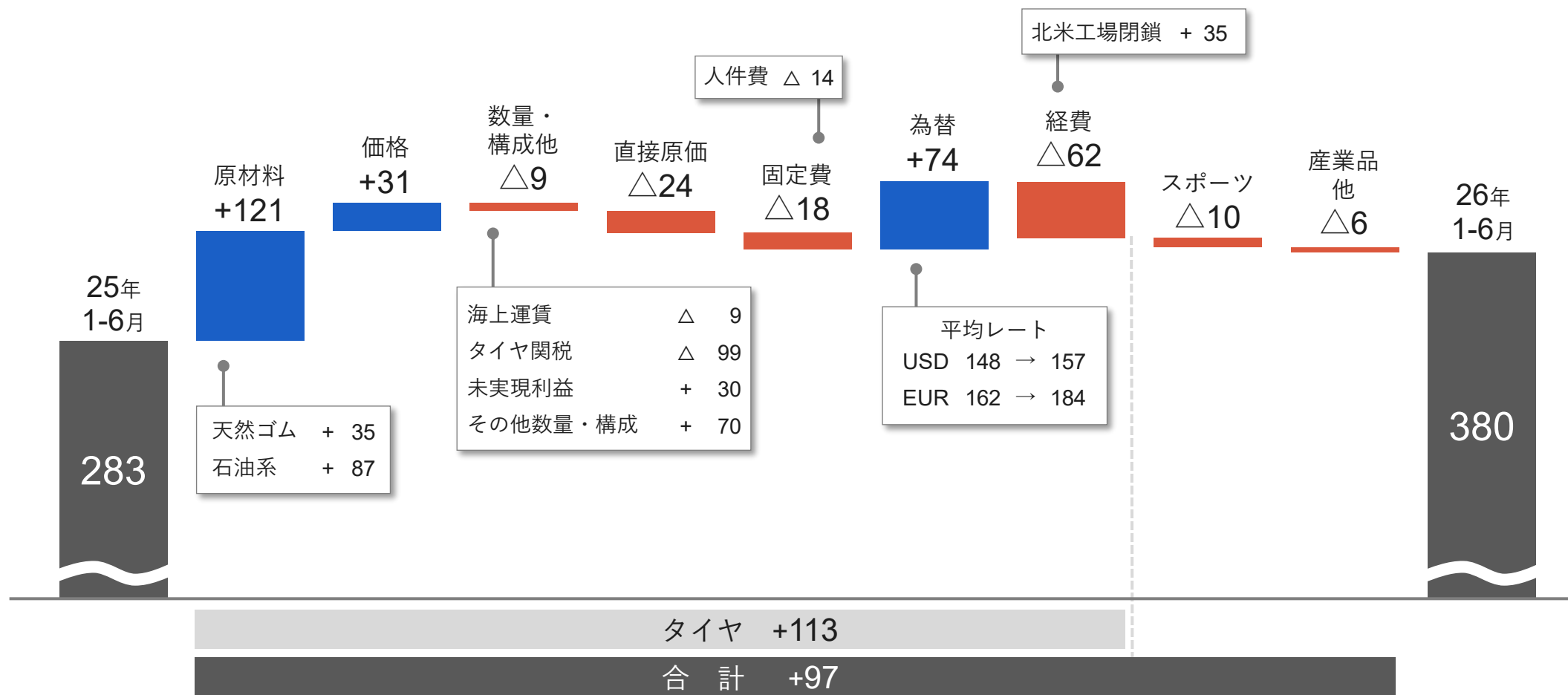
(億円)

		今回予想 2026年 1-6月	前年同期 2025年 1-6月	前年 同期比	年初予想 2026年 1-6月	今回予想 2026年 4-6月	前年同期 2025年 4-6月
売上 収益	タイヤ	5,370	4,883	110%	5,370	2,771	2,438
	スポーツ	655	647	101%	655	333	323
	産業品他	175	192	91%	175	74	84
	合計	6,200	5,722	108%	6,200	3,178	2,844
事業 利益	タイヤ	335	222	151%	335	187	113
	スポーツ	30	40	74%	30	21	23
	産業品他 ※	15	21	72%	15	4	6
	合計	380	283	134%	380	212	142

※セグメント間取引消去等が含まれております。

2026年1-6月 連結事業利益 増減要因イメージ

(億円)



	上期	原材料	価格	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	上期	(増減)
年初予想	283	+171	+48	$\Delta 15$	$\Delta 33$	$\Delta 34$	+55	$\Delta 79$	$\Delta 10$	$\Delta 6$	380	+97
24年→25年	423	$\Delta 138$	+86	$\Delta 2$	$\Delta 7$	+45	$\Delta 42$	$\Delta 60$	$\Delta 29$	+7	283	$\Delta 140$

2026年度 連結業績予想

(億円)

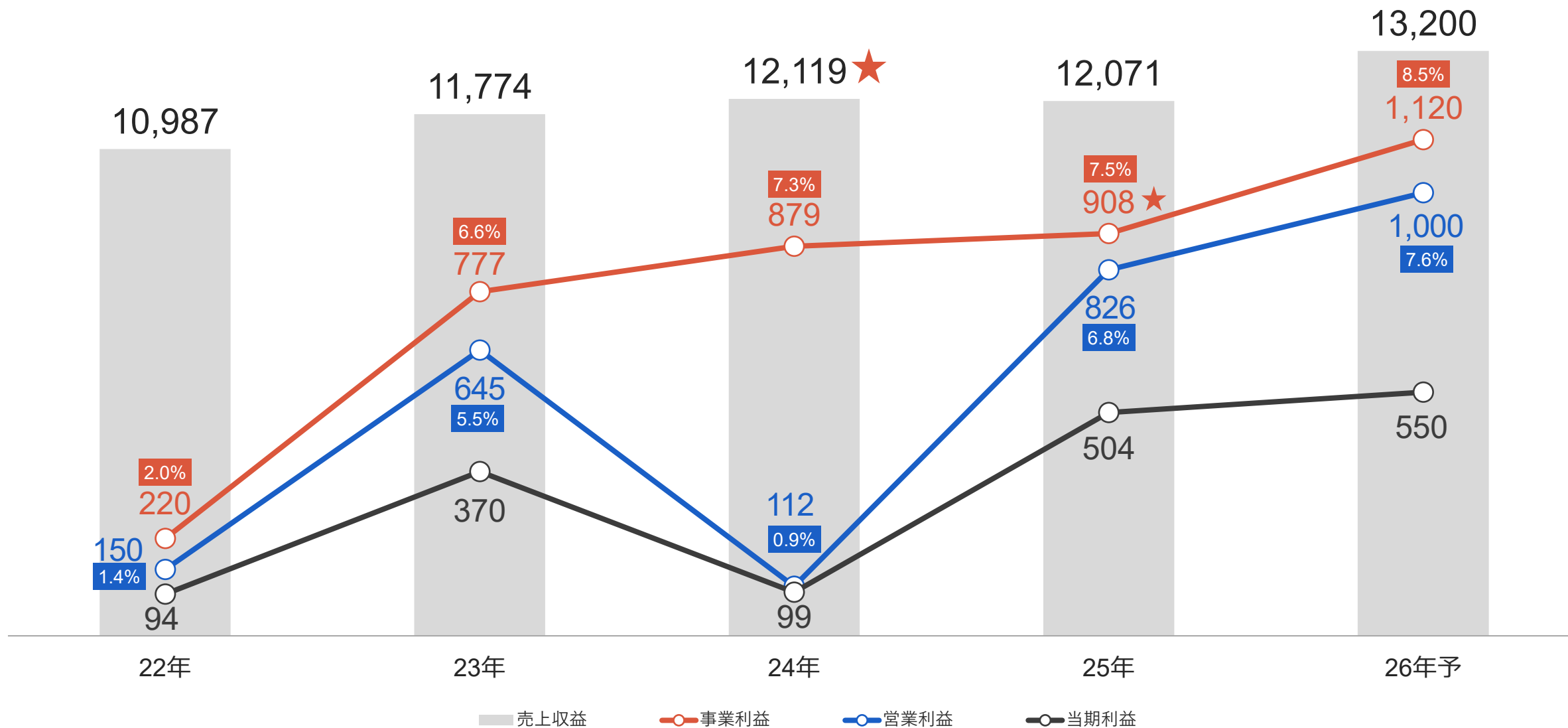
	今回予想 2026年	前期実績 2025年	前期比	年初予想 2026年
売上収益	13,200	12,071	109%	13,200
事業利益 率	1,120 8.5%	908 7.5%	123%	1,120 8.5%
営業利益 率	1,000 7.6%	826 6.8%	121%	1,000 7.6%
当期利益	550	504	109%	550
ROIC ※1	6.9%	6.2%		6.9%
ROE	7.5%	7.3%		7.5%
ROA ※2	7.5%	6.5%		7.5%
D/E Ratio	0.6	0.6		0.6

※1. ROIC : 「税引後事業利益」 ÷ 「投下資本」

※2. ROA : 「事業利益」 ÷ 「総資産」

年間連結売上収益・利益の推移

単位：億円 %：利益率 ★：過去最高



2026年度 セグメント別 連結売上収益・事業利益予想

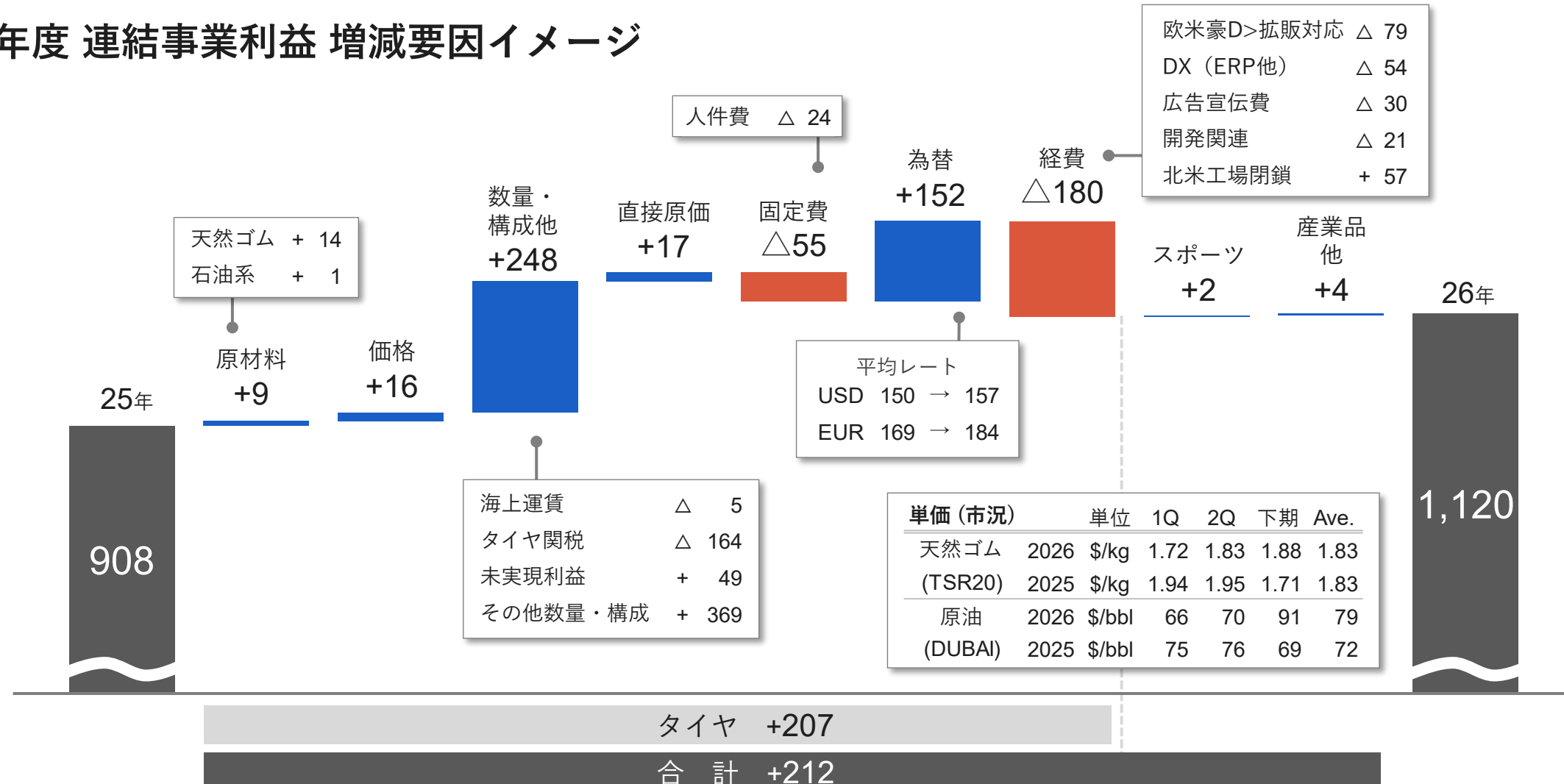
(億円)

		今回予想 2026年	前年実績 2025年	前期比	年初予想 2026年
売上 収益	タイヤ	11,545	10,437	111%	11,545
	スポーツ	1,275	1,256	102%	1,275
	産業品他	380	378	101%	380
	合計	13,200	12,071	109%	13,200
事業 利益	タイヤ	1,005	798	126%	1,005
	スポーツ	70	68	102%	70
	産業品他 ※	45	41	109%	45
	合計	1,120	908	123%	1,120

※セグメント間取引消去等が含まれております。

2026年度 連結事業利益 増減要因イメージ

(億円)



単価 (市況)	単位	1Q	2Q	下期	Ave.
天然ゴム	2026 \$/kg	1.72	1.83	1.88	1.83
(TSR20)	2025 \$/kg	1.94	1.95	1.71	1.83
原油	2026 \$/bbl	66	70	91	79
(DUBAI)	2025 \$/bbl	75	76	69	72

年間	原材料	価格	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	年間	(増減)	
年初予想	908	+229	△34	+239	△16	△71	+62	△202	+2	+4	1,120	+212
24年→25年	879	△7	+253	△253	+42	+70	△9	△60	△10	+2	908	+28

連結事業利益 増減要因の推移

(億円)

期間	事業利益		増減要因									
		前年同期比	原材料	価格	数量・構成他	直接原価	固定費	為替	経費	スポーツ	産業品他	
25年	1-3月	141	△91	△88	+28	+15	△6	+20	△15	△28	△25	+8
	4-6月	142	△49	△50	+58	△17	△1	+25	△27	△31	△4	△0
	7-12月	625	+168	+131	+167	△251	+49	+25	+33	+0	+19	△5
	前期	908	+28	△7	+253	△253	+42	+70	△9	△60	△10	+2
26年	1-3月	168	+27	+100	+33	△77	△17	△3	+25	△23	△8	△3
	4-6月	212	+70	+21	△2	+68	△7	△15	+49	△39	△2	△2
	7-12月	740	+115	△112	△15	+257	+41	△37	+78	△118	+12	+9
	当期	1,120	+212	+9	+16	+248	+17	△55	+152	△180	+2	+4
年初予想との差			+0	△220	+50	+9	+33	+16	+90	+22	+0	△0

タイヤ販売本数 前年同期比推移

対前年	2025年実績					2026年1-3月実績、4-12月予想				2026年年初予想		
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間	1-3月	4-6月	7-12月	年間	1-6月	7-12月	年間
国内新車	120%	104%	98%	102%	105%	107%	98%	103%	103%	106%	103%	105%
国内市販	96%	91%	98%	93%	94%	96%	103%	99%	99%	96%	99%	98%
海外新車	91%	92%	92%	87%	90%	97%	103%	103%	102%	98%	103%	101%
海外市販	94%	96%	90%	92%	93%	96%	109%	117%	110%	106%	117%	111%
海外市販内訳	北米	83%	97%	81%	87%	89%	97%	122%	107%	97%	122%	109%
	欧州	97%	90%	108%	98%	113%	143%	135%	131%	129%	135%	132%
	アジア	104%	95%	89%	96%	98%	104%	105%	103%	100%	105%	103%
	その他	94%	100%	86%	90%	92%	97%	106%	98%	97%	106%	101%
計	97%	95%	93%	93%	94%	97%	106%	109%	105%	103%	109%	106%
合計本数 (万本)	2,385	2,369	2,421	2,580	9,756	2,322	2,503	5,461	10,286	4,887	5,461	10,348

カテゴリ別タイヤ販売本数 前年同期比

対前年同期	2025年1-3月実績				2025年1-12月実績			
	新車	市販	計	構成比	新車	市販	計	構成比
乗用車用	102%	94%	96%	87%	96%	94%	94%	88%
うちプレミアムタイヤ※	107%	96%	100%	45%	99%	95%	97%	47%
トラック・バス用	109%	98%	99%	3%	112%	93%	95%	4%
二輪・産業用他	102%	106%	104%	9%	96%	91%	93%	8%
合計	102%	95%	97%	100%	97%	93%	94%	100%

対前年同期	2026年1-3月実績				2026年1-12月予想			
	新車	市販	計	構成比	新車	市販	計	構成比
乗用車用	102%	96%	98%	88%	103%	108%	107%	89%
うちプレミアムタイヤ	101%	102%	102%	47%	108%	116%	113%	50%
トラック・バス用	104%	85%	87%	3%	97%	96%	96%	3%
二輪・産業用他	96%	89%	92%	9%	97%	94%	95%	8%
合計	101%	95%	97%	100%	102%	107%	106%	100%

年度別プレミアムタイヤ構成比率推移

	プレミアムタイヤ		
	新車	市販	計
24年実績	56%	42%	46%
25年実績	57%	44%	47%
26年予想	60%	47%	50%

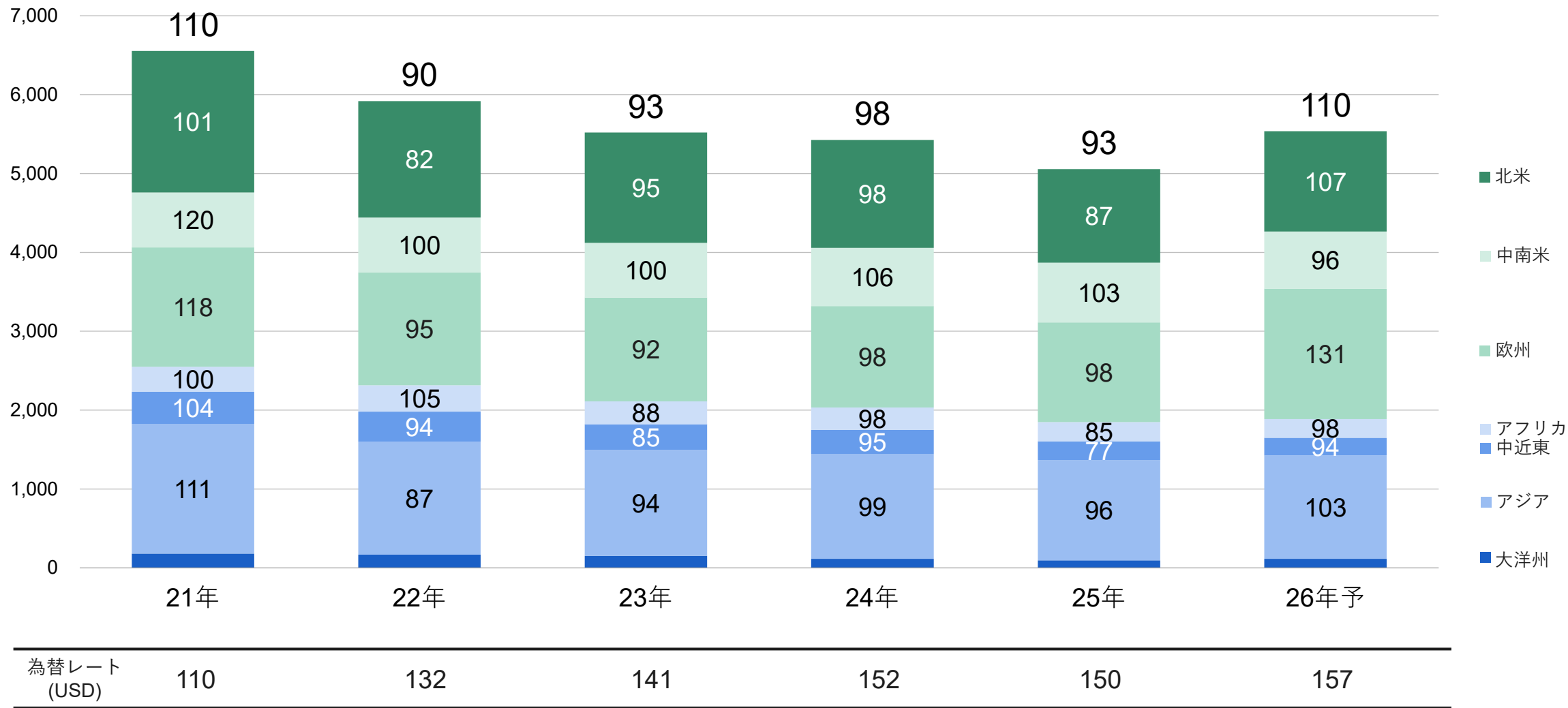
※ プレミアムタイヤ

差別化商品（SYNCHRO WEATHER、WILDPEAK、欧州オールシーズンタイヤ、冬タイヤなど）、SUV用タイヤ及び18インチ以上の乗用車用タイヤ

タイヤ海外市販 年間販売本数 地域別推移

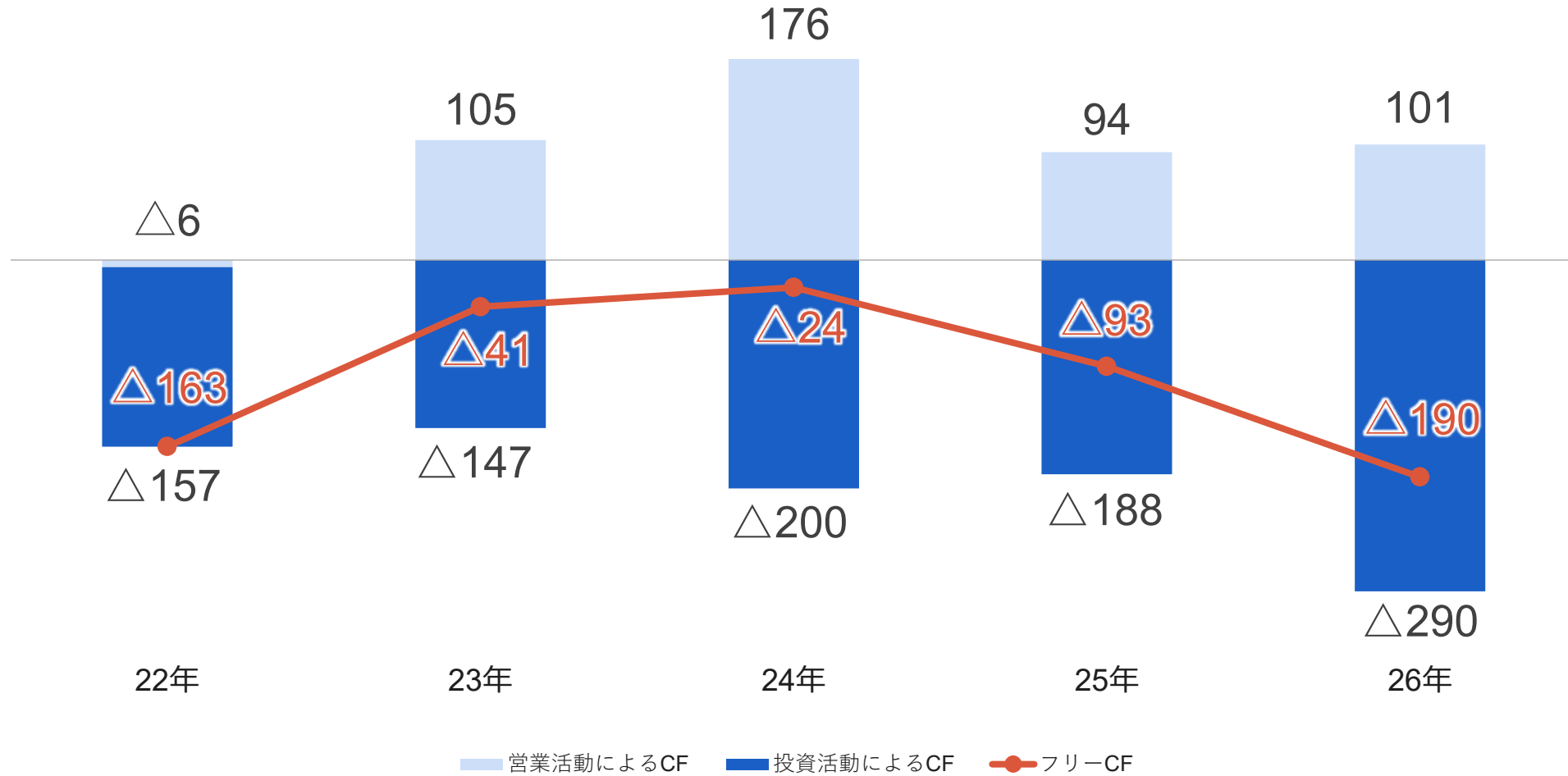
単位：万本

※グラフ内の数字は地域ごとの前年比（%）を示しております。



1-3月 キャッシュ・フローの推移

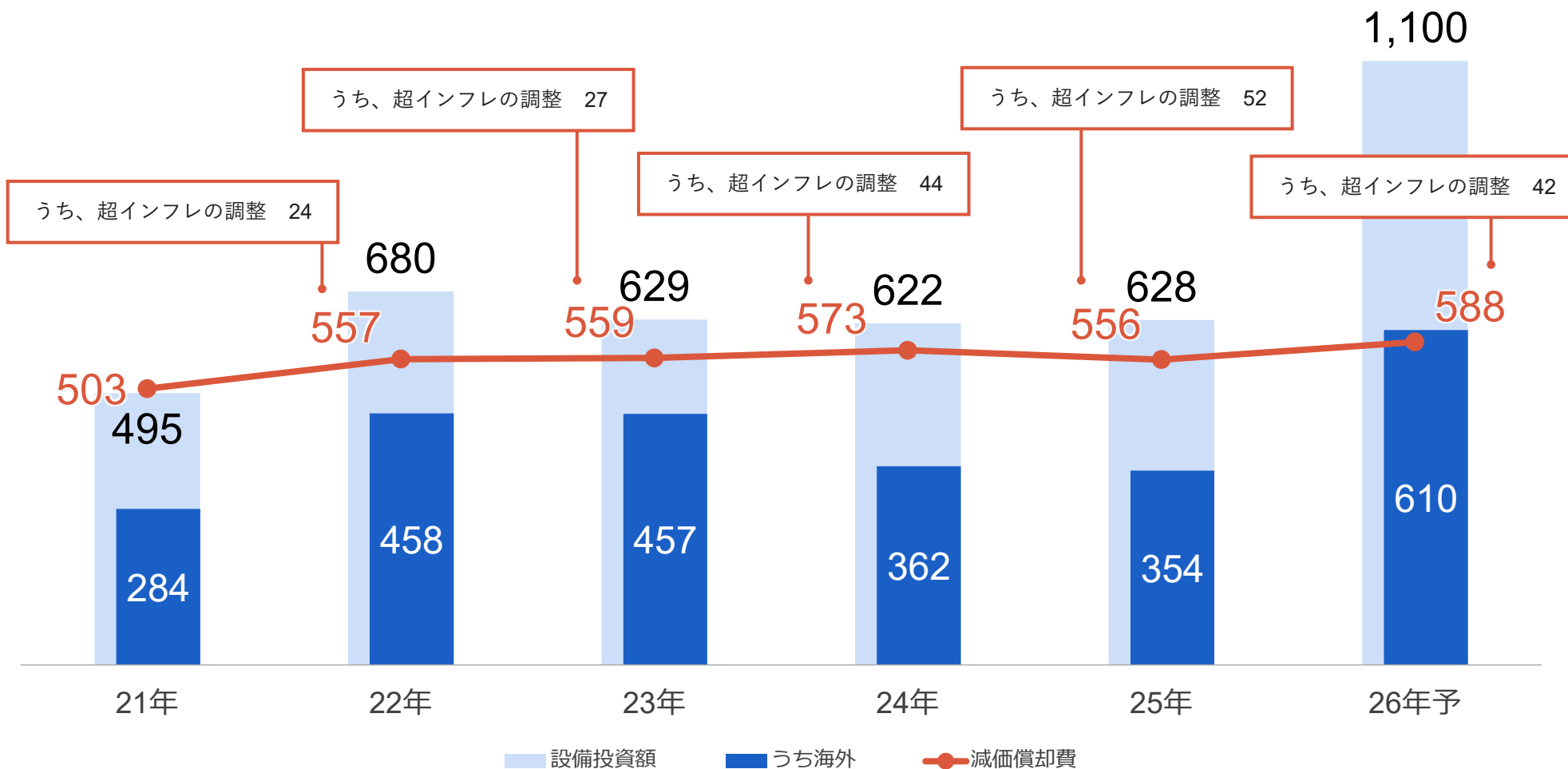
(億円)



年間設備投資額、減価償却費（有形）の推移

(億円)

年初予想から
変更ありません

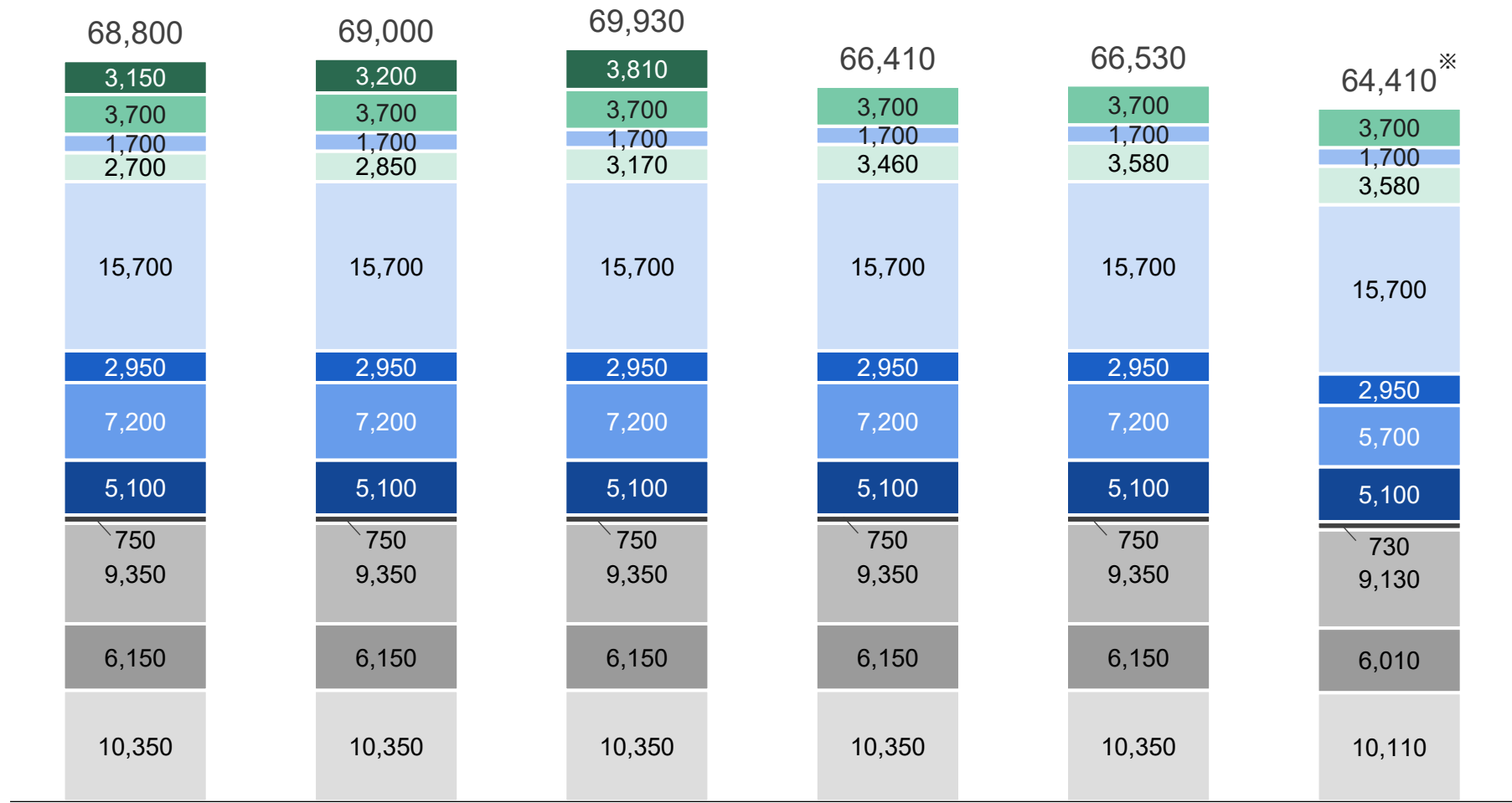


タイヤ生産能力の推移

年初予想から
変更ありません

単位：t/月

- 米国
- トルコ
- 南アフリカ
- ブラジル
- タイ
- 中国（湖南）
- 中国（常熟）
- インドネシア
- 泉大津
- 宮崎
- 名古屋
- 白河

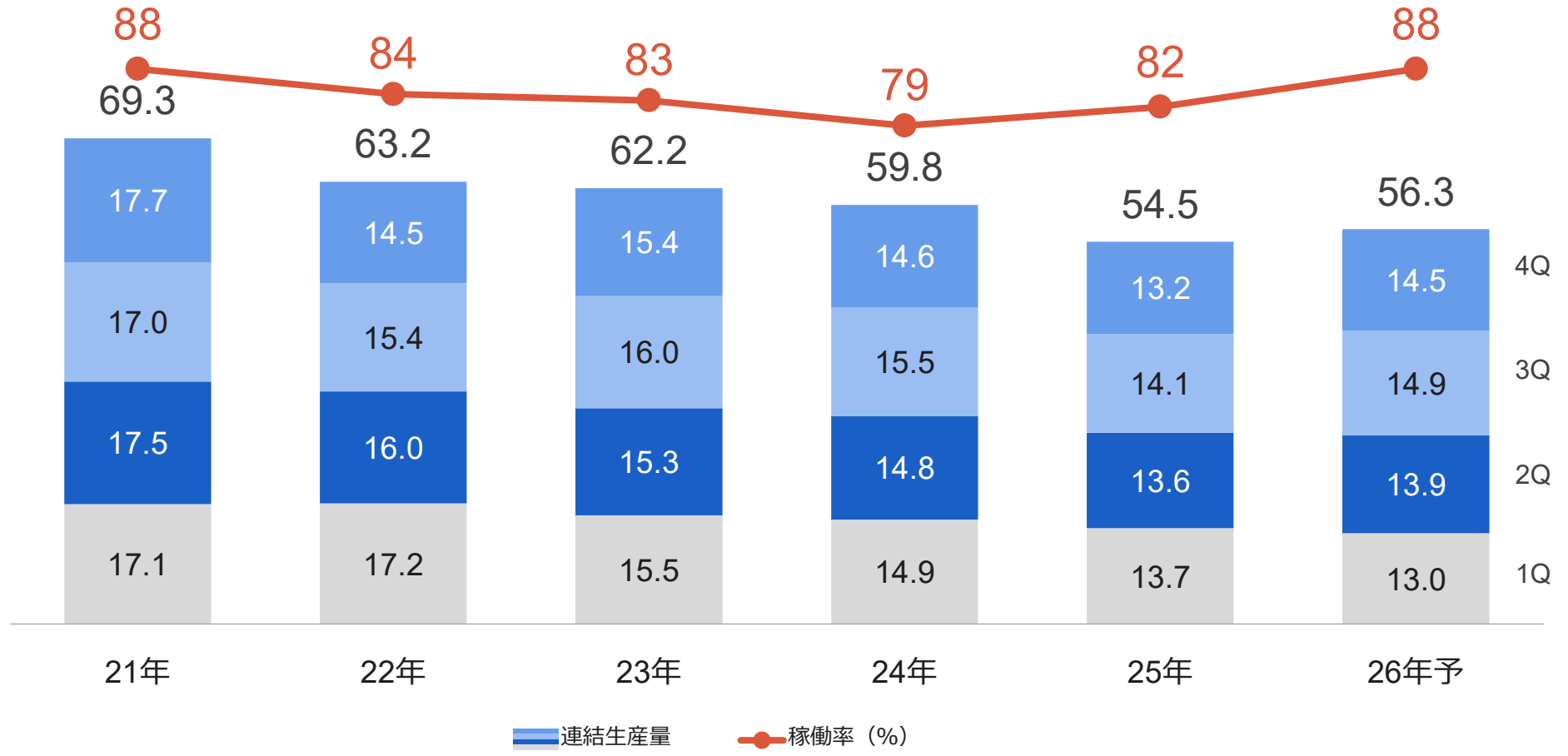


	'21/12	'22/12	'23/12	'24/12	'25/12	'26/12 予
海外比率	61%	61%	62%	60%	60%	60%
対前年	100%	100%	101%	95%	100%	97%

※稼働日数の変更に伴い、各工場の生産能力を見直しております。

年間タイヤ設備稼働率、生産量の推移

単位：万t



海外比率	63%	63%	64%	64%	64%	63%
対前年	117%	91%	98%	96%	91%	103%

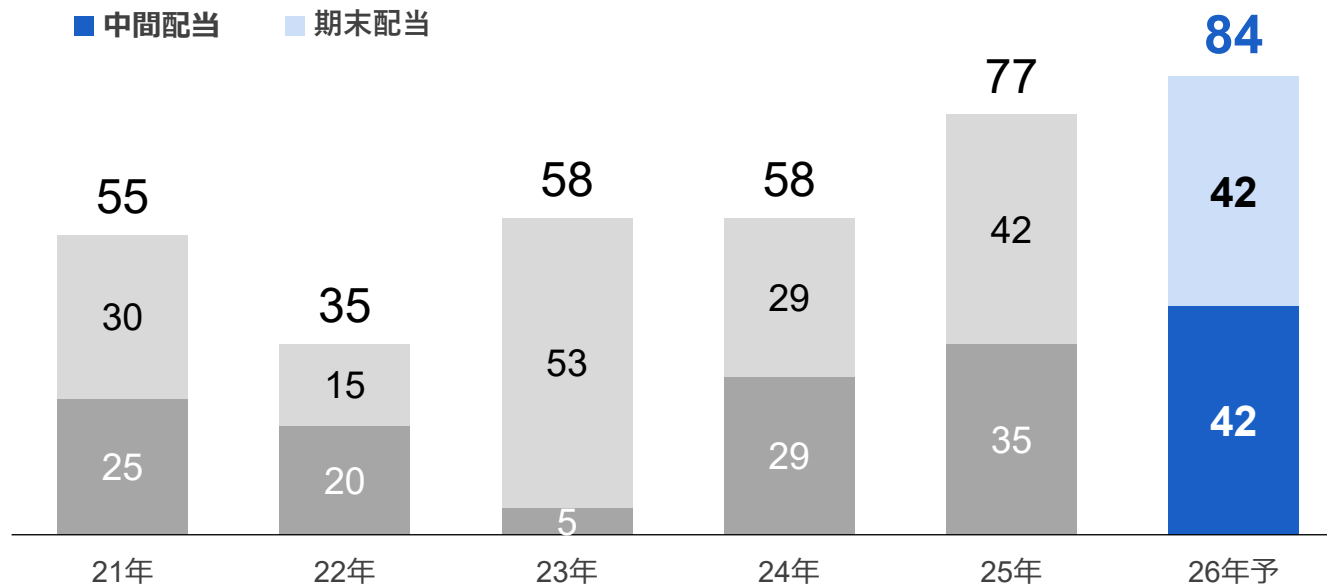
株主還元

当社は株主への利益還元を最重要課題と認識し、2026年より連結配当性向40%以上・DOE 3%以上を基準に、業績の見通し、内部留保の水準等を総合的に判断しながら、長期にわたり安定して株主に報いることを基本方針としております。

2026年年間配当予想について：

2026年度連結業績予想に基づき、期末配当予想を以下の通りとしております。

年初予想から
変更ありません



(参考) 配当性向・DOEの推移 (%)

配当性向	49.1	/	97.8	/	41.2	/	154.6	/	40.2
DOE	3.0	/	1.8	/	2.6	/	2.4	/	3.0

40.1%
3.1%

※ DOE = 配当総額 ÷ 自己資本
※ 2025年度以前のDOEは参考



SYNCHRO WEATHER

路面状態でゴムの性質
が変化する新技術「ア
クティブトレッド」搭
載の次世代オールシー
ズンタイヤ



GRANDTREK R/T⁰¹

耐久性・走破性に加え、
カスタムも楽しめる
DUNLOP初のラギッ
ドテレーンタイヤ



e.ZIEX

当社最高レベルの低
燃費(電費)性能を誇
る欧州市場向け市販
用EVタイヤ



XXIO 14

国内トップブランドの
ひとつとして定評のあ
る「ゼクシオ」ゴルフ
クラブの14代目

サステナビリティ経営の推進

直近の取り組み 詳細は弊社ウェブサイトからニュースリリースをご参照ください。(https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2026/)

2026

- 4月 ● - 神戸市、公益財団法人森林文化協会と自然共生サイトの里山保全・再生活動に関する協定を締結
持続可能な天然ゴム調達に向けた、小規模農家支援プログラムを実施 ～農家の収益性向上に貢献～
- 3月 ● - タイヤ・路面摩耗粉じんに関する6件の研究成果を「Tire Technology Expo 2026」で発表 ～発生・拡散・蓄積の3段階において科学的に検証～
- 1月 ● - カーボンメーカーのCABOT社と資源循環の取り組みで協業
- 12月 ● - サステナビリティ長期目標「はずむ未来チャレンジ」にイノベーション目標を新設 ～事業を通じた社会課題解決を加速～
「D&I AWARD 2025」において3年連続で最高位の「ベストワークプレイス」認定を取得
資源循環型カーボンブラックを一部乗用車向け量産タイヤに初採用、宮崎工場で生産を開始
CDP2025「気候変動」と「水セキュリティ」分野の最高評価Aリストに初認定
- 11月 ● - ゴルフボールの環境対応が飛躍的に進化、サステナブル原材料比率82%を達成した「スリクソン Z-STAR + e80」を開発
- 8月 ● - タイヤ・路面摩耗粉じんに対する取り組み成果を国内外の学会で発表
- 7月 ● - 資源循環型カーボンブラック採用タイヤを『2025 AUTOBACS SUPER GT』第4戦 GT300クラスに投入 ～三菱ケミカルとの協業成果を実装、今後一般用タイヤにも展開予定～
CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」において最高評価を獲得
- 6月 ● - 住友ゴムグループ「統合報告書2025」を発行
TCFD・TNFD提言に基づく統合的な情報開示へ ～気候変動と自然資本に関するリスクと機会への包括的な対応を強化～
- 5月 ● - 住友大阪セメントとCO2再資源化人工石灰石を使用したゴム製品を開発
住友ゴムグループ「人権レポート 2025」を発行
- 4月 ● - 長期経営戦略を支える人的資本経営の実行に向け全取締役のDE&Iトップコミットメントを策定
福島県のタイヤ工場に水素製造装置（やまなしモデルP2Gシステム）導入 24時間稼働で水素製造開始 ～2050年カーボンニュートラル達成に向け、グリーン水素活用でさらなる脱炭素化推進へ～
- 3月 ● - TNFD提言に沿った自然関連リスク分析を全事業に対して実施
「アクティブトレッド技術」が「Tire Technology International Awards for Innovation and Excellence」で「R&D Breakthrough of the Year」を受賞
- 2025 1月 ● - 住友ゴムと三菱ケミカルがタイヤ用カーボンブラックにおける資源循環の取り組みで協業を開始

会社情報

弊社ウェブサイトよりご覧いただけます。

IRライブラリ	日本語	https://www.srigroup.co.jp/ir/library/
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/ir/library/
ファクトブック	日本語	https://www.srigroup.co.jp/ir/library/factbook.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/ir/library/annual-report/
決算短信 / 決算説明会資料	日本語	https://www.srigroup.co.jp/ir/library/financial-report/index.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/ir/library/financial-report/index.html ⇒決算説明会のスクリプトも公開（日本語版：5月18日、英語版：5月19日）
統合報告書	日本語	https://www.srigroup.co.jp/sustainability/information/download.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/report.html
コーポレート・ガバナンス報告書	日本語	https://www.srigroup.co.jp/corporate/governance.html
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/corporate/governance.html
コーポレート・ガバナンス体制	日本語	https://www.srigroup.co.jp/sustainability/information/dvql4p000000yrnk-att/2025p29-60.pdf
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/dvql4p000000f222-att/2025p29-60.pdf
サステナビリティ経営の推進	日本語	https://www.srigroup.co.jp/sustainability/
	English	https://www.srigroup.co.jp/english/sustainability/

オールシーズンタイヤは夏が苦手？

それ、
誤解です。

あらゆる路面にシンクロする
SYNCHRO WEATHER

SUNNY RAIN 次世代オールシーズンタイヤ SNOW ICE

※異なる積雪、凍結路面を走行する際は、WINTER MAXX 03の設置をお願いします。
※プラットフォームが露出した場合は、冬用タイヤとしては使用できません。

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。